

### (3) 男女平等参画とメディア

#### 目標

メディア事業者の自主的な取組を促すとともに、情報の受け手が必要な情報を主体的に読み解き、自ら発信する能力の育成を図ります。

#### ■現状・課題

情報通信技術の急速な進展は、人々の意識やライフスタイルに大きな影響を与えています。特に、インターネットの普及は、情報収集や発信の点において大変優れており、男女平等参画に関する情報を伝達したり、平等参画意識を高めるのに有効です。

しかし、メディアの提供する情報の中には、性別役割分業に基づくステレオタイプの男女像や女性の性的側面のみを強調した内容の表現等も見受けられ、男女平等参画を阻害する要因の一つになっています。

表現の自由は尊重されるべきですが、表現される側の人権や性・暴力表現に接しない自由、マスメディアや公共空間において不快な表現に接しない自由にも十分に配慮する必要があります。

高度情報通信化が進展する中では、各人が情報を主体的に読み解き、自ら発信する能力（メディア・リテラシー）の向上が求められます。

#### ■基本的方向

都自らが、人権を尊重した表現に努めるとともに、メディア事業者自身による暴力や性表現の自粛など、自主的な取組を促します。また、人権侵害につながる性表現が青少年の男女平等参画についての認識を阻害しないよう有害情報を含むメディアの自主規制を促します。

情報の受け手側が、メディアを主体的に読み解き、メディアを使って自分の考えを表現していく能力の育成を図ります。

## 〈 都の施策 〉

### ア メディアへの対応

不健全図書の区分陳列を徹底するとともに、情報モラル、情報リテラシーなどメディアへの対応能力を育成します。また、都の広報、出版物等においても性差別につながらない表現を促進します。

事業名	事業概要	所管局
不健全図書類の区分陳列	「東京都青少年の健全な育成に関する条例」に基づき、著しく性的感情を刺激する等、青少年の健全な育成を阻害する図書類の区分陳列を徹底します。	青少年・治安対策本部
インターネット等に関する取組	☆「東京都青少年の健全な育成に関する条例」に基づき、青少年の健全な育成を阻害するおそれのある情報を取り除くためのフィルタリングの普及を推進します。	青少年・治安対策本部
	☆インターネットやゲームをする上での、家庭内におけるルールづくりを支援することで、親子のコミュニケーションをより一層、緊密にすると同時に有害情報から子どもを守ります。	
インターネット等新たなメディアにおけるルールの確立に向けた検討	ネット環境浄化のために、ハイテク犯罪対策協議会等と連携した広報啓発活動を推進します。	警視庁
	サイバーパトロールのほか、各種相談事案を通じて違法・有害情報を収集し、対策と取締りを推進します。	
情報モラル教育の充実	教職員研修センター等において教員研修を実施し、性や暴力表現を扱ったメディアから児童・生徒を守ることを含め、情報を発信する責任や情報モラル、リテラシーに関する情報の充実を図ります。	教育庁
庁内広報誌作成のポイント	男女平等参画の視点に立った広報紙・誌、ポスター等を作成するよう庁内に周知します。	生活文化スポーツ局

## ＜ 都民・事業者の取組 ＞

### ア メディア事業者の取組

各メディアにおいて、倫理規定の遵守を徹底します。

項目	概要	団体名
協議会等における検討	協会の会報等によりメディアの重要性を告知し、必要に応じて出版団体で構成する「出版倫理協議会」や協会の関係委員会等で検討します。	書籍出版協会
	協会の会報等により男女平等参画の観点から、メディアの重要性について周知します。	雑誌協会
	男女平等参画について、「出版倫理協議会」において、行政や他の機関との連携に取り組みます。また、「東京都青少年の健全な育成に関する条例」が遵守されるよう積極的に取り組みます。	
	「編集倫理委員会」において、人権の観点から男女平等参画を検討します。	

### イ メディアへの対応能力の育成

情報モラル、情報リテラシーなどメディアへの対応能力を育成するための支援を行います。

項目	概要	団体名
情報モラル向上への取組	☆子どもたちがパソコン、携帯電話、ゲーム機器、漫画・雑誌等と安全に付き合うための注意事項を示した「都小P 情報環境7ヶ条」を作成し、実践の輪を広げていきます。	小学校PTA協議会
	☆東京都と心の東京革命推進協議会（青少年育成協会）が行うインターネットやゲームに関する家庭のルールづくりを支援する「ファミリールール講座」のファシリテーター養成講座に参加し、各小学校等での講座の開催に協力していきます。	